

## フィッシャー レジンアンカー FEB R M

フィッシャー ユーロボンド  
接着系カプセル型 (回転・打撃式)



**FEB R M**

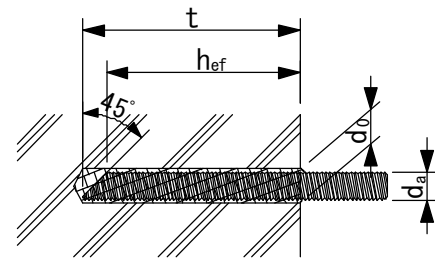
### 特長

- ビニルエステル樹脂
- ガラスカプセル
- スチレンフリー (スチレン臭が無い)
- VOC 14 化学物質 (ホルムアルデヒド等) は製造には未使用
- 有効期限は製造日より3年 (36ヶ月)  
※ 直射日光を避け、冷暗場所 (+5~+25°C) に保管して下さい。
- アンカー打設後の浸透性は無い試験結果 (R M 12 + 全ねじボルト M12 で実施)
- 欧州技術認証 ETA



### カプセルタイプ

FEB タイプ	品番	カプセル		
		外径 [mm]	長さ [mm]	容量 [ml]
R M 8 *	050270	8	85	3.8
R M 10	050271	10.5	90	5.8
R M 12	050272	12.5	97	9.9
R M 16E	512708	16.5	123	22.0
R M 20	050274	23	160	52.0
R M 24	050275	23	190	64.0
R M 27	079843	27.5	210	104.0




※ 埋込み先端を片側 45°カットの場合  
※  $d_a$  : 接着系アンカーボルトの径

※ \*印の R M 8 は非在庫品。納期等は事前にご確認する必要があります。

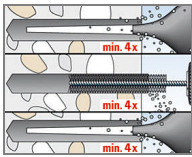
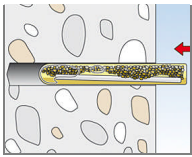
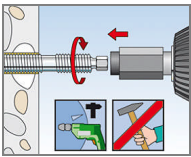
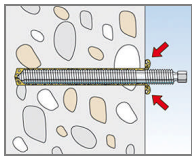
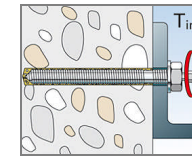
### 施工仕様

FEB タイプ	適用アンカーボルト 全ねじボルト/ 異形棒鋼	ドリル径 $d_0$ [mm]	穿孔深さ $t$ [mm]	有効埋込み深さ $h_{ef}$ [mm]
R M 8 *	M8 ( $T_{inst} =$ 最大 10 N·m)	10	80 (10.0 $d_a$ )	72 (9.0 $d_a$ )
R M 10	M10 ( $T_{inst} =$ 最大 20 N·m)	12	90 (9.0 $d_a$ )	80 (8.0 $d_a$ )
	D10	13	85 (8.5 $d_a$ )	75 (7.5 $d_a$ )
R M 12	M12 ( $T_{inst} =$ 最大 40 N·m)	14	110 (9.1 $d_a$ )	98 (8.1 $d_a$ )
	D13	16	100 (7.6 $d_a$ )	87 (6.6 $d_a$ )
R M 16E	M16 ( $T_{inst} =$ 最大 60 N·m)	18	130 (8.1 $d_a$ )	114 (7.1 $d_a$ )
	D16	20	130 (8.1 $d_a$ )	114 (7.1 $d_a$ )
R M 20	M20 ( $T_{inst} =$ 最大 120 N·m)	25	170 (8.5 $d_a$ )	150 (7.5 $d_a$ )
	D19	25	200 (10.5 $d_a$ )	181 (9.5 $d_a$ )
R M 24	M22 ( $T_{inst} =$ 最大 120 N·m)	28	190 (8.6 $d_a$ )	168 (7.6 $d_a$ )
	D22	28	220 (10.0 $d_a$ )	198 (9.0 $d_a$ )
R M 27	M24 ( $T_{inst} =$ 最大 150 N·m)	32	210 (8.7 $d_a$ )	186 (7.7 $d_a$ )
	D25	32	250 (10.0 $d_a$ )	225 (9.0 $d_a$ )

※  のマークが付いている仕様は JCAA 製品認証取得の製品です。

※  $T_{inst}$  は 最大締付けトルク。

**施工方法**

 <p>① 規定の穿孔後、孔内を清掃。</p>	 <p>② 規定のガラスカプセルを挿入。</p>	 <p>③ 回転・打撃でアンカーを打設。</p>	 <p>④ 規定の埋込み深さまで打設。 (過剰に攪拌をしない)</p>	 <p>⑤ 硬化時間が過ぎてから取付物を取付ける。</p>
--	---	---	---	--

**硬化時間**

コンクリート母材温度 と 硬化時間	
コンクリート母材温度	硬化時間
+20 °C以上	10 分
+10 ~ +20 °C	20 分
±0 ~ +10 °C	45 分
-5 ~ ±0 °C	240 分

※ コンクリートが乾燥状態での硬化時間。

※ 湿孔の場合は孔内から水・のろ等を十分に除去して、2 倍の硬化時間をとる。(荷重は低減します)

**荷重**

FEB タイプ	全ねじボルト／ 異形棒鋼	最大引張荷重 [kN (tf)]	最大せん断荷重 [kN (tf)]
R M 8 *	M8	19.0 (1.93)	9.2 (0.93)
R M 10	M10	30.0 (3.06)	14.5 (1.47)
	D10	29.8 (3.05)	26.3 (2.69)
R M 12	M12	64.5 (6.59)	42.7 (4.36)
	D13	50.4 (5.15)	49.3 (5.04)
R M 16E	M16	92.6 (9.45)	81.2 (8.29)
	D16	96.9 (9.89)	86.0 (8.78)
R M 20	M20	140.8 (14.37)	125.0 (12.76)
	D19	133.5 (13.63)	120.8 (12.33)
R M 24	M22	160.3 (16.36)	157.3 (16.06)
	D22	193.3 (19.73)	160.6 (16.39)
R M 27	M24	183.9 (18.77)	180.6 (18.43)
	D25	207.7 (21.20)	206.1 (21.04)

- 備考)
- 全ねじボルトは、旧 神奈川高度技術支援財団 平成 10 年 3 月 31 日付けの報告書による。普通コンクリート圧縮強度  $\sigma_B = 33.4 \text{ N/mm}^2$   
ボルト降伏点  $\sigma_y = 888.2 \text{ N/mm}^2$
  - M20 & D19 の荷重は FEB R M 20J による。
  - 異形棒鋼は、旧 神奈川県産業技術総合研究所 平成 11 年 1 月 27 日付けの報告書による。普通コンクリート圧縮強度  $\sigma_B = 35.0 \text{ N/mm}^2$   
異形棒鋼の降伏点  $\sigma_y = \text{最小 } 354.3 \text{ N/mm}^2$
  - 最大引張荷重は試験 5 体の平均値。
  - 最大せん断荷重は試験 3 体の平均値。
  - 各最大荷重に安全係数を考慮して下さい。
  - R M 8 (M8) と R M 10 (M10) の荷重は社内試験。普通コンクリート  $F_c 20 \text{ N/mm}^2$
  - 施工要領書、SDS 等もご確認下さい。